

風立ちぬ かぜ た

堀 ほり

辰雄 たつ お

それらの夏の日々、一面にす

すきの生い茂った草原の中で、

お前が立ったまま熱心に絵を描

いていると、私はいつもそのか

たわらの一本の白樺の木かげに

身を横たえていたものだった。

●書ける字はなぞりましょう。声に出して読みましょう。